

**解 答**

- I 問1 A イ B キ C ウ  
問2 神奈川 問3 イ  
問4 外国船と波止場の間を行き来して荷物を運ぶため。  
問5 エ・オ 問6 水道  
問7 安い品物が大量に輸入され、国内の産業が圧迫されること。  
問8 生糸 問9 鉄道  
問10 国勢調査
- II 問11 火災  
問12 横浜港が近く、輸出入に便利であること。  
大消費地である東京に近いこと。  
大都市に近く、労働力が得やすいこと。など  
問13 原油 問14 愛知県 問15 自動車  
問16 C 中国（中華人民共和国） D アメリカ（アメリカ合衆国）
- III 問17 A エ B イ C ウ  
問18 (1) クレーンを使って短時間で積み込みや積みおろしができる点。  
(2) 船からトラックにそのまま積みかえられる点。  
(3) 大きさが統一されているので、積み重ねて保管しやすい点。 (順不同)  
問19 (例) 開国後、横浜港は品物の輸出入だけでなく、人や文化の交流の拠点となった。貿易の拡大とともに、港を中心として都市の機能が整備されていった。その後、沿岸部に工業地帯が形成されるようになると、工業港としての役割が大きくなり、輸出入品目も工業の発展とともに変化した。現在も、大消費地に近いという利点をいかした、日本有数の貿易港である。

**解 説**

- I 問1 横浜市と隣り合う市町村は、川崎市・大和市・藤沢市・横須賀市・鎌倉市・逗子市と東京都の町田市です。ペリーが上陸した浦賀は、現在の横須賀市になります。
- 問2 神奈川は日米和親条約が結ばれた場所でもあります。そのためこの条約は神奈川条約とよばれることができます。日米修好通商条約では、その神奈川が開港予定地とされました。人の行き来の多い神奈川ではなく、小さな漁村であった横浜が開港することになりました。
- 問4 はしけとよばれる小さな船は、江戸時代の大坂でも見られます。港に停泊している北前船などから、堀沿いにある蔵屋敷まで、はしけで米などが運び込まれていました。
- 問6 衛生的に安全な水を確保することは、伝染病の予防に欠かせません。
- 問7 関税は主として輸入国が輸入品にかける税です。関税によって輸入品の販売価格が上がり、国内の産業が保護されます。日米修好通商条約では日本に關稅自主権がなかったため、綿製品が多く輸入され、日本の綿織物は大きな打撃を受けました。
- 問8 1909年、生糸の輸出額は世界一になりました。
- 問9 道路が整備され、トラックが普及するまで、国内の陸上貨物輸送の中心は貨物列車でした。
- II 問11 関東大震災は、1923年9月1日の午前11時58分に起こりました。正午近くであったため、昼食の準備に火を使っていた家庭が多く、また木造家屋が多かったことから、火事が被害を拡大させました。
- 問12 工場の立地条件にはさまざまなことがあります。原材料を確保しやすいこと、労働力や工場用地に恵まれていること、大消費地に近いことなどがあげられます。また、半導体などをつくる電子工業では、製品の輸送に便利な空港や高速道路の近くということも、立地条件の一つになります。
- III 問17 現在、国内の貨物輸送の中心は自動車で、約6割を占めています。また、船も原料や燃料などの輸送に多く利用され、全体の35%ほどを占めています。環境をそこなうことが最も少ない鉄道での輸送は約4%にとどまっています。
- 問18 コンテナ輸送の最大の利点は荷物の積みかえを速く簡単に行うことができることです。
- 問19 まず、本文にある横浜港の移り変わりを箇条書きで整理します。その時、港の発展とその役割の変化に着目してまとめていくとよいでしょう。